

北陸新幹線レポート

～響くつち音、広がる未来～

《第2号》

平成29年9月1日発行

平成34年度末に敦賀まで開業予定の北陸新幹線。現在、沿線では工事が着々と進められています。本レポートでは、県民のみなさんに100年に1度のプロジェクトである新幹線事業を見て、感じていただけるよう、今しか見ることができない工事の状況をはじめ、北陸新幹線に関する様々な情報を随時提供していきます。

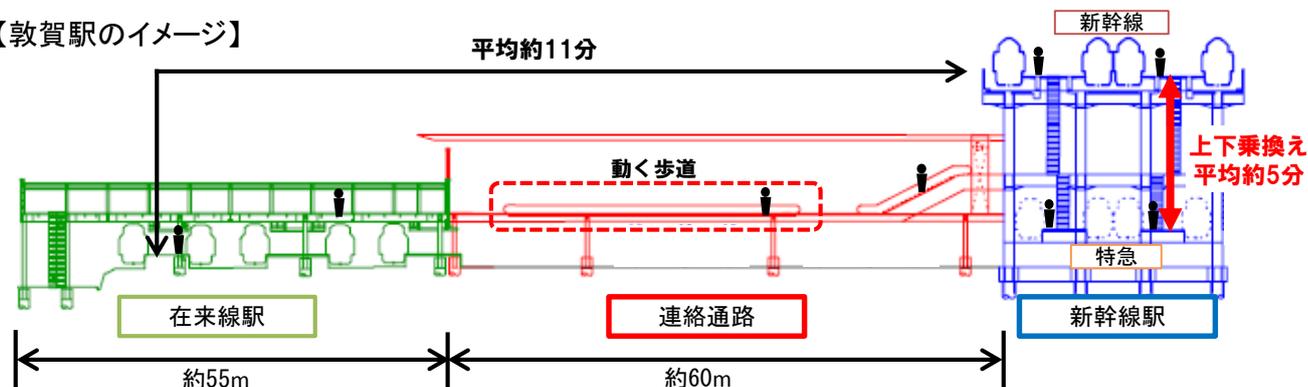
敦賀駅は上下乗換え方式で整備することに決定

今年5月の与党福井駅先行開業等検討委員会において、敦賀駅の乗換え利便性を確保するため、新幹線ホームの下に在来特急ホームを設ける上下乗換え施設や、新幹線駅と在来線駅を結ぶ連絡通路を整備することが決定されました。

上下乗換えにより、新幹線と特急との平均乗換え時間は約5分となり、在来線駅で乗り換える場合にかかる時間（約11分）の半分以下に短縮されます。

また、新幹線駅と在来線駅を快適に移動できるようにするため、連絡通路に「動く歩道（ムービングウォーク）」の整備を検討しています。

【敦賀駅のイメージ】



福井駅は新幹線ホームの開口部や改札の増設などが決定

福井駅は新幹線ホームがひとつであり、上りと下りの乗降客が同時にホームを利用するため混雑が予想されます。このため、ホームの開口部や改札を増設し、混雑緩和を図ります。

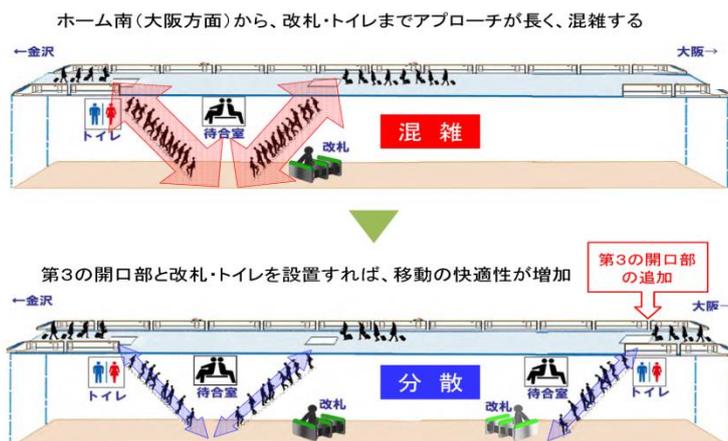
また、ゆとりある空間を確保するため、新幹線駅舎の東側に拡張施設を整備することを検討しています。

このほか、新幹線と在来線をスムーズに乗り換えられるよう、在来線駅の中2階の通路を延ばして乗換え改札を設け、新幹線駅と連絡できるようになります。

【拡張施設のイメージ】



【ホーム開口部や改札の増設イメージ】



柿原トンネルでは田畑の真下を新幹線が走行します

柿原トンネル（あわら市柿原）では、トンネルの掘削が順調に進められています。

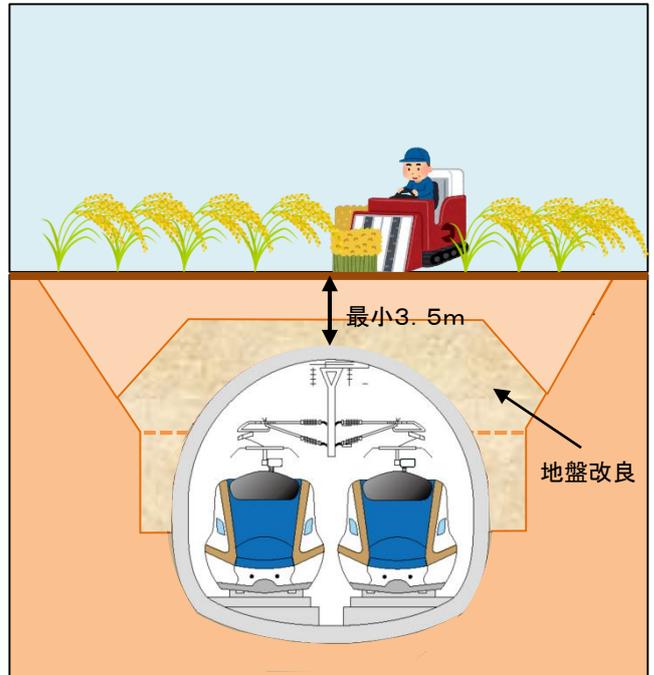
柿原トンネルは全長約2.5kmで、そのうち約3割が田畑などの地下を通ります。地表からトンネル上部までは最小で3.5mの深さとなり、完成すれば田畑の真下を新幹線が通るといって、とても珍しいトンネルとなります。

なお、トンネルの掘削前には、地盤改良（土にセメント等を混ぜ込み、硬い地盤にする）のための掘削作業により、一時的にトンネルが通る位置を見ることができます。

地盤改良工事（掘削）の様子



トンネル内部（細呂木小学校 現場見学会の様子）



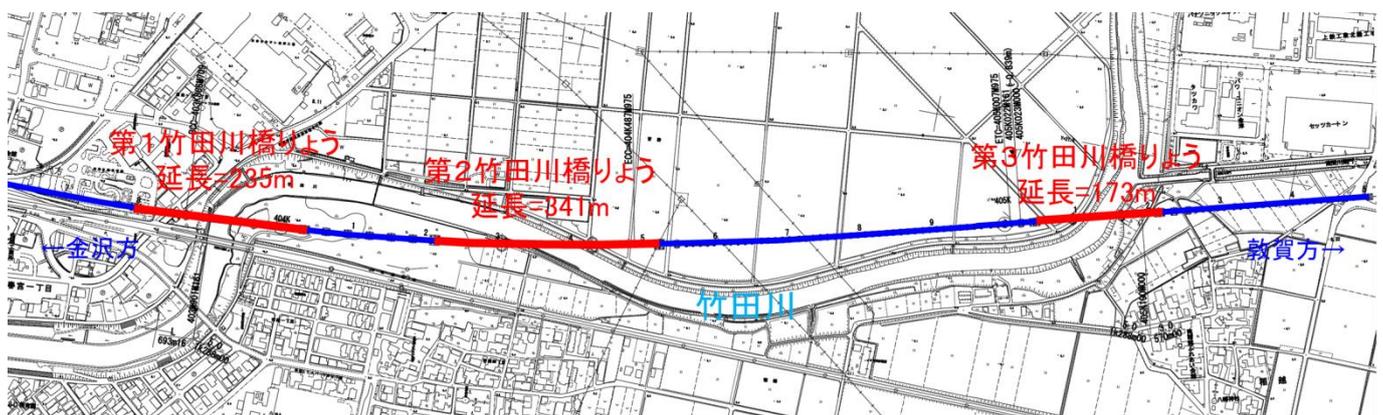
竹田川には3つの橋りょうを架設します

あわら市旭地区から伊井地区を流れる竹田川では、3月から橋りょうの整備が進められています。

新幹線のルートはS字に流れる竹田川を直線でもたぐため、3つの橋りょうを架設します。

このうち、第2竹田川橋りょうは延長が341mであり、北陸新幹線の河川橋としては、県内で2番目の長さになります。

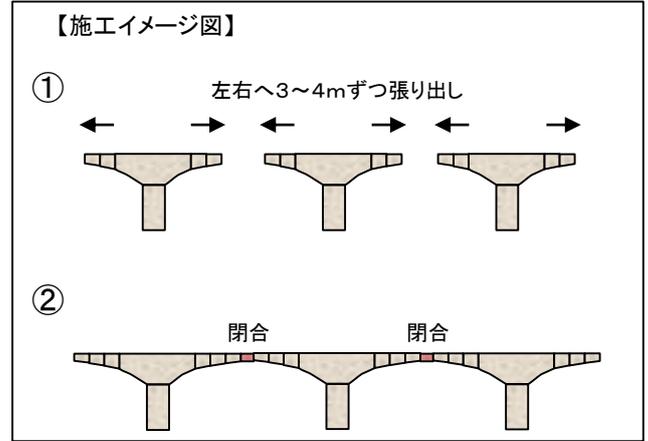
現在、第1および第2竹田川橋りょうの橋脚を施工中であり、10月末から第3竹田川橋りょうの橋脚工事にも着手する予定です。



九頭竜川橋りょう工事も順調に進んでいます

九頭竜川橋りょうの左岸側（福井市中藤新保町）では、橋台や橋脚が完成し、現在は「張り出し工法」により橋桁の架設が進められています。

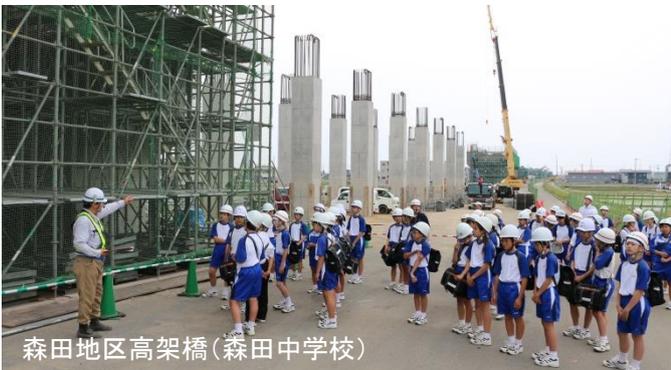
橋脚を起点に、橋桁を「やじろべえ」のように3～4mずつブロック単位で左右のバランスを取りながら張り出していき、最終的にそれぞれの橋脚から伸びた橋桁どうしをつなぎます。



小中学生を対象に現場見学会を開催しました

将来を担う小中学生の皆さんに新幹線事業への関心を高めていただくため、県、鉄道・運輸機構、施工者である共同企業体（JV）が共同で工事現場見学会を開催しました。また、埋蔵文化財発掘調査現場では、発掘作業を間近で見学し、実際に出土した土器などを見ていただきました。

参加した児童生徒のみなさんは、工事や発掘調査について理解を深めながら、平成34年度末の敦賀開業に向けて期待を膨らませていました。



【参加した児童から寄せられた感想】

- ・橋げたを道路の上につくる時の工夫がすごいなあと感じました。（中藤小5年）
- ・防音壁やロングレールで騒音を小さくしているという工夫が分かりました。（中藤小5年）
- ・こんなことはもうないと思う。新幹線のことを詳しく知ることができてよかったです。（上文殊小5年）
- ・開通はまだ先だけど、とても待ち遠しいです。新幹線が通っても、昔ここに遺跡があったことを忘れないでいたい。（上文殊小6年）

駅舎のデザインが今年度内に決定

平成34年度末の敦賀開業時には、県内に芦原温泉駅、福井駅、南越（仮称）駅、敦賀駅の4駅が整備されます。

駅が設置される4市が鉄道・運輸機構に提出したデザインコンセプトをもとに、今年の秋頃、機構から駅舎デザインの素案3案が各市に提示され、市が選定した案に基づき、今年度内には基本デザインが決定される予定です。

なお、平成30年度は駅舎の実施設計を行い、平成31年度に着工、平成34年度に完成予定です。



《デザインコンセプト》

【芦原温泉駅】

「あわらの大地に湧き出る^{いで ぜい}贅の駅」

（趣旨）あわらの雄大な景色と、美しい自然、新鮮な食、あたたかい温泉、なにげないひとときが、都会には無い「贅沢」だと感じられる駅

【福井駅】

「太古から未来へ～悠久の歴史と自然がみえる駅～」

（趣旨）永平寺や一乗谷朝倉氏遺跡などの歴史や足羽山、足羽川、九頭竜川といった自然など福井らしさの風景を感じられる駅

【南越（仮称）駅】

「伝統・文化を未来につなぐシンボルとしての駅」

（趣旨）長い歴史に育まれた伝統や文化を生かしたシンボリックな駅で、豊かな自然に溶け込む、趣のある駅

【敦賀駅】

「空にうかぶ～自然に囲まれ、港を望む駅～」

（趣旨）「空にうかぶ」ような高い位置に建設される駅舎と周囲の豊かな自然との調和がとれたデザインで、歴史ある敦賀港への想いが溢れた駅

建設現場の定点写真をホームページで公開中！

今しか見ることができない新幹線工事が進んでいく様子を県民のみなさんに見ていただけるよう、ホームページに工事の状況を定点撮影した写真を掲載しています。今後、工事の進捗に合わせて順次撮影地点を追加し、写真も充実させていきますので、ぜひご覧ください。

（掲載例）高柳高架橋（福井市）



<http://www.pref.fukui.jp/doc/shinkansen/shinkansennkouji/shinnkansennkoujisintyoku.html>

福井県 新幹線工事

検索